

認知症サポーター増えています

令和3年	32人	累計	3,569人
令和2年	15人		
令和元年	456人		

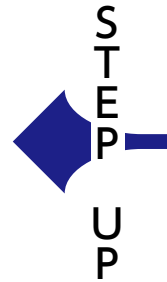
ここ数年、非常に多くの受講があり、累計で3,569人の認知症サポーターが誕生しました。

今後も、実施を予定しています。日程などの詳細は広報紙や市ホームページでお知らせしています。ぜひ、受講してみてください。

地域のサロンや企業・団体などへの講座も個別に実施しています。開催を希望する場合は相談してください。



市内中学校でも講座で開催



なりませんか、「認知症サポーター」

認知症の人を地域で支えるためには認知症についての知識を習得し、理解者を増やすことが大切です。認知症を正しく理解し、できる範囲で認知症の人や家族を支える応援者「認知症サポーター」を養成するための講座を定期的に開催しています。

地域でボランティアとして活動できるサポーターを目指す人向けに、認知症サポーターステップアップ講座も開催しています。  
※受講には認知症サポーター養成講座の受講が必要です

活用してください

「あんなか認知症あんしんガイドブック」



認知症の状態によって、利用できる医療・介護サービスの提供の流れや認知症について相談できる機関などの情報を掲載したパンフレット、「あんなか認知症あんしんガイドブック(認知症ケアパス)」を配布しています。



「認知症初期集中支援チーム」

を配置しています



認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けて集中的(おおむね6か月)に訪問支援を行います。

チームは認知症専門医と地域包括支援センター職員(主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師など)で構成されます。

認知症サポーターキャラバンマスコットキャラクター

「ロバ隊長」

ロバ隊長は『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり』への道のりの先頭を歩き、ロバのように一步一步進んでいこう!という意味が込められています。このロゴを見つけたら認知症のことを少し考えてみてください。

